

## 令和3年度第5回教育改革推進会議概要

日時 令和4年3月4日(金) 18時00分～20時00分

場所 三重県庁7階 教育委員室(オンライン会議)

出席 教育改革推進会議委員(欠席:谷ノ上委員、山田委員、中田委員)  
教育長、副教育長、諸岡次長 井上課長  
教育政策課、高校教育課

<次期「県立高等学校活性化計画(仮称)」最終案について、資料4『県立高等学校活性化計画(仮称)』最終案(素案)」のとおりとしてよいか。ほかに付け加えるべき点や考慮すべき点はないか。>

### 【「1 はじめに」について】

- (3)「本計画の期間」というみだしについて、「本計画の実施期間」または「実践期間」としてはどうか。

### 【「2 高校教育を取り巻く状況」について】

- 2(4)「高校生の意識」の1つ目の○「高校生の意識に関する全国調査」について、注釈5に説明があるこの調査は、平成26年度に実施され、翌27年度に「高校生の生活と意識に関する調査報告書」という形で調査結果が公表されている。結果報告書が「生活と意識」となっていることから、本文と注釈に「生活」という文言も付け加えたほうがいいのではないか。また、注釈に「平成26年度に実施した」という文言を付け加えてはどうか。

### 【「4 基本的な考え方をふまえた県立高等学校活性化の取組」について】

- 4(2)②「社会の一員としての自覚と責任感の育成」の7つ目の○について、ICTを自らの課題解決に活かせる力の育成についてもメディアリテラシーの観点から大切だと考えるので、加えてはどうか。
- 4(2)③「グローバル教育の推進」というみだしについて、他のみだしとそろえるために「グローバル教育の推進による協調する力の育成」、もしくは「グローバルな視点と態度の育成」としてはどうか。
- 4(4)②「学習活動の機会の確保」で、ICTの活用による多様な学びの保障について書かれているが、そのための一人一台端末環境の整備はBYODの保護者負担によってなされている現状があるため、費用の補助などについて今後も引き続き検討することを要望したい。

- 4 (4) ②「学習活動の機会の確保」の2つ目の○について、ICT活用などによる子ども達の学びの保障と、教職員の働き方を両立することが必要である。資料3『次期「県立高等学校活性化計画（仮称）」（案）に対してパブリックコメントでいただいたご意見と県の考え方（案）』の番号55で、進学課外等に関する意見への回答で、「すでに他校で実施している課外授業を受講」とあるが、課外授業等を新たに開設していくわけではなく今あるものを活用していくということによいか。今後とも状況によって、新たな授業や講座の開設は子ども達の学びのために大切だが、その場合は教職員の人的な保障や配置をしたうえで進めることをお願いしたい。
- 4 (5) ③「組織運営体制の強化による教育活動の活性化」の2つ目の○のスクールミッション、スクールポリシーの注釈が全面的に書き換わっているが、これは、元の記述内容を否定するものでなく、内容をわかりやすくするという観点で直したということによいか。また、スクールミッションは設置者が、スクールポリシーは各学校が設定するものという趣旨は変わらず、この活性化計画自体がスクールミッションを体現しているものであると理解してよいか。

【「5 これからの時代に求められる学びを提供できる県立高校のあり方」について】

- 4つ目と5つ目の○について、資料3の3ページの表中、番号11の対応状況に、わかりやすいように1文を2文に分割したとあるが、「他の高等学校では担うことが難しい県内唯一の学科」であっても募集停止の条件に該当すれば統合すると読み取れることに対して、その認識によいか。
- 3つ目の○の「…これまで取り組んできた地域と連携した学びや…」という文言について、「これまで取り組んできた」は「地域と連携した学び」に係るものであるが、「これまで取り組んできた地域」のみと「連携する」ようにも読めてしまうため、誤解されない表現を検討すべきである。

【全般】

- 良い計画になったと思うが、計画を策定して終わりではなく、実際に地域の子どものために高校のあり方を考え、行動していくことが重要であるため、今後さらに各地域でしっかり協議が行われていくことを期待したい。
- パブリックコメントでは、公私比率など、私立高校と比較した意見もあったが、例えばICTの活用の仕方などでも、県立と私立では違いがあるように感じる。県立高校では、老朽化や一人一台端末の費用負担などの課題もあるため、そういった課題については今後も検討をいただくとともに、保護者や子ども達にとって、進路の選択肢となるよう、県立高校の魅力をしっかり訴えていって欲しい。